



第 2 四 半 期 決 算 説 明 会

2010年(平成22年)11月19日

ネツレン

高周波熱錬株式会社

I 経営推移と今後の事業展開

II 第11次中期経営計画の実績と進捗状況

III 2011年(平成23年)3月期第2四半期 連結決算の概要

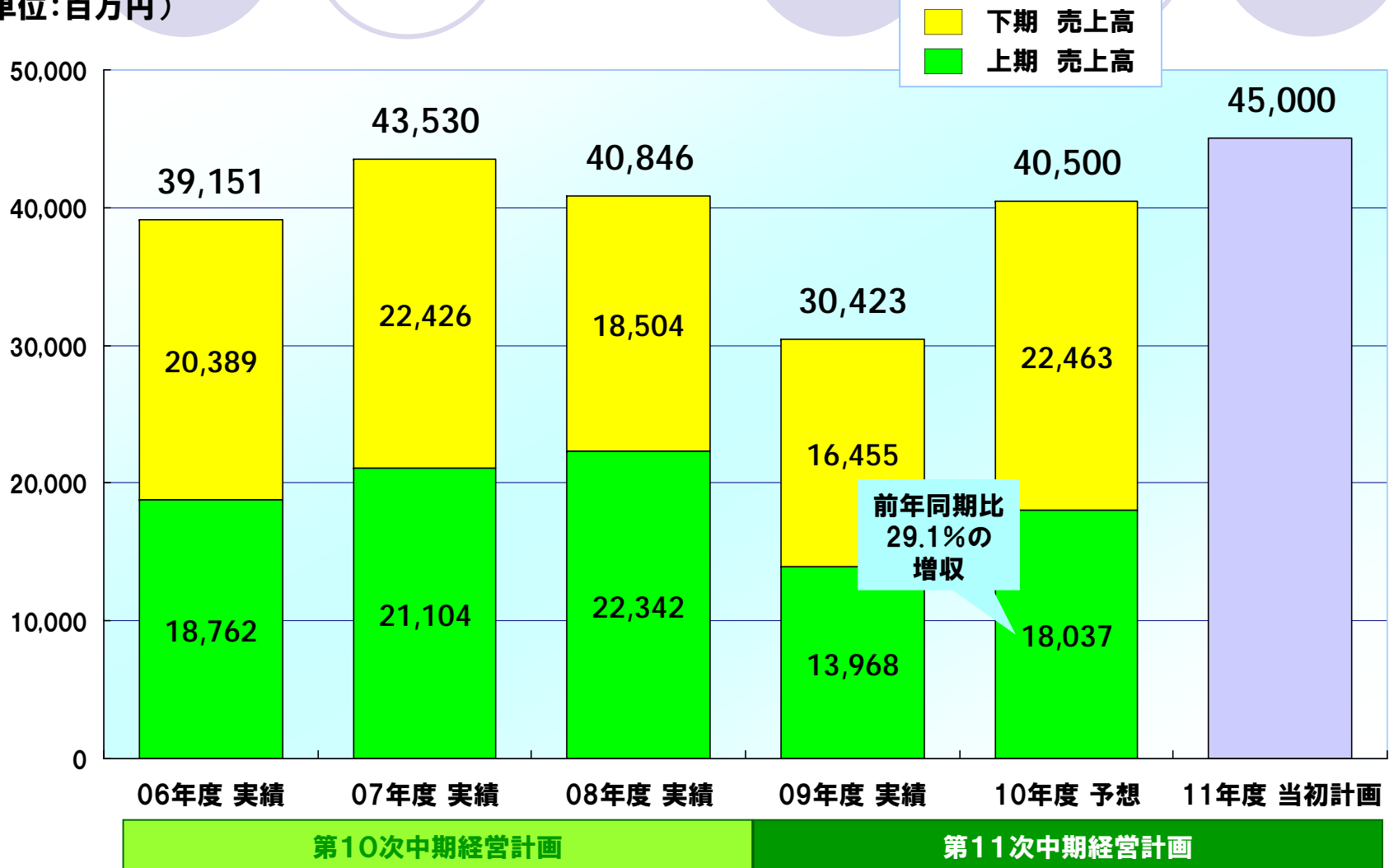


I 経営推移と今後の事業展開

1

連結売上高

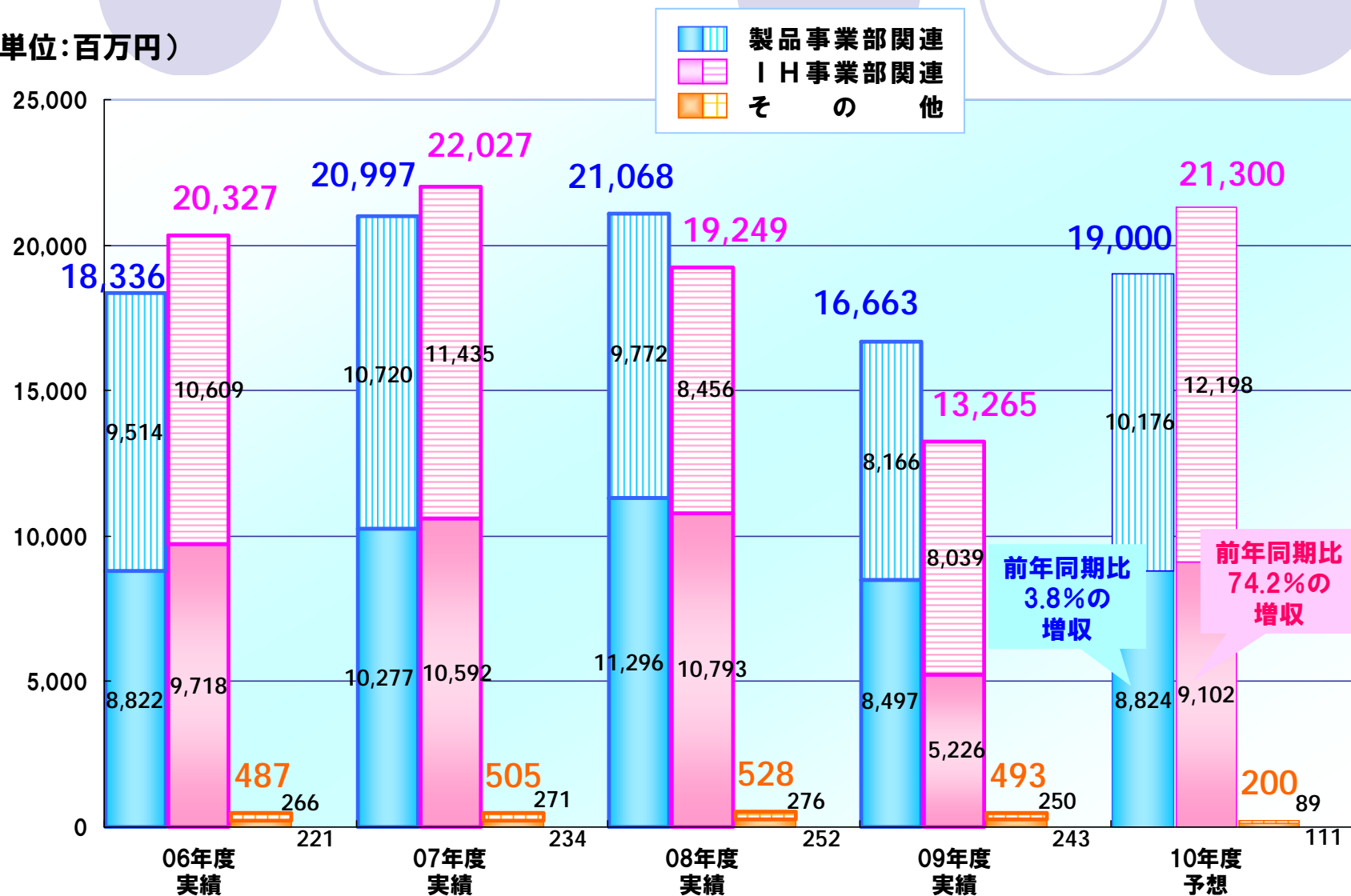
(単位:百万円)



2

セグメント情報(連結売上高)

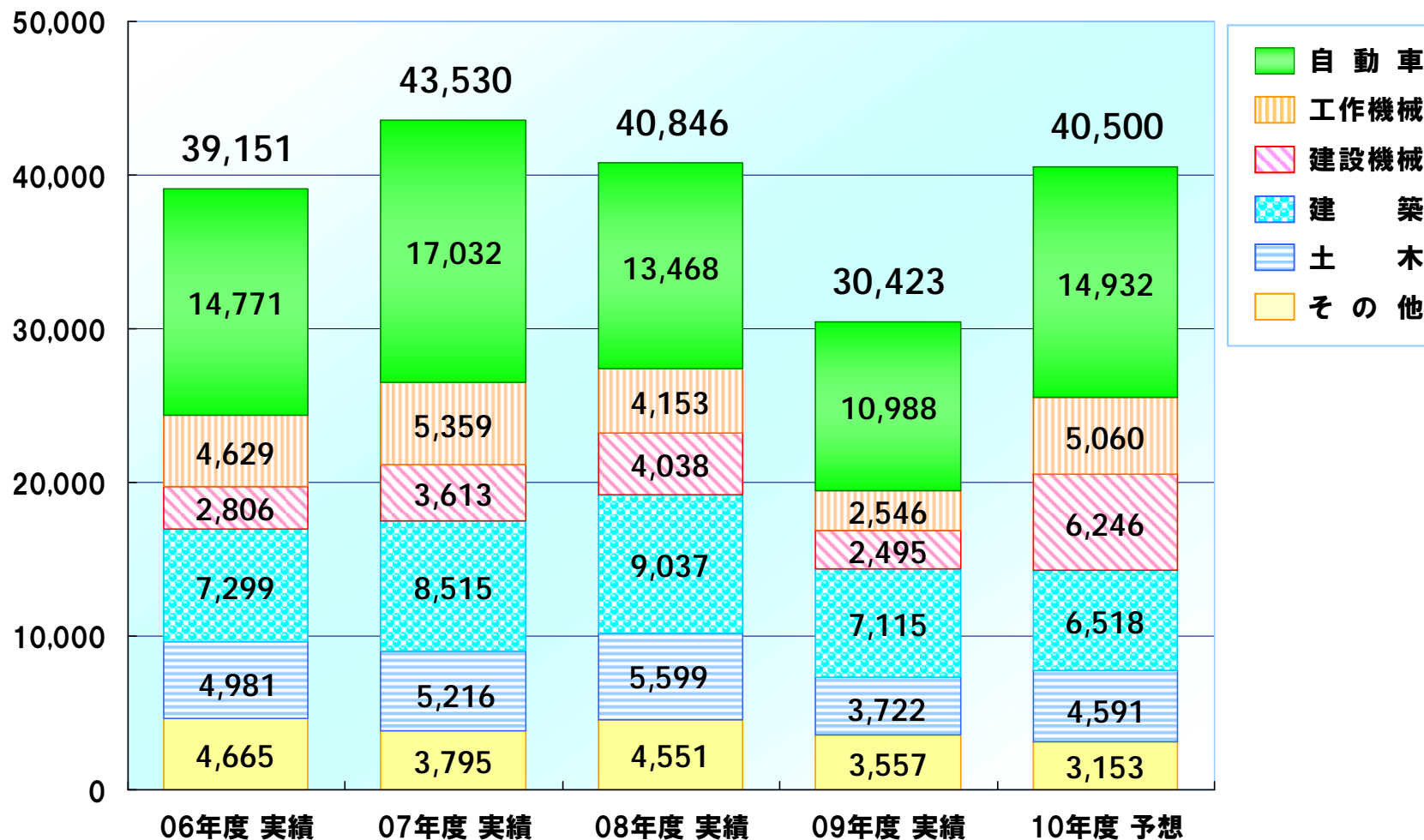
(単位:百万円)



3

業界別売上高

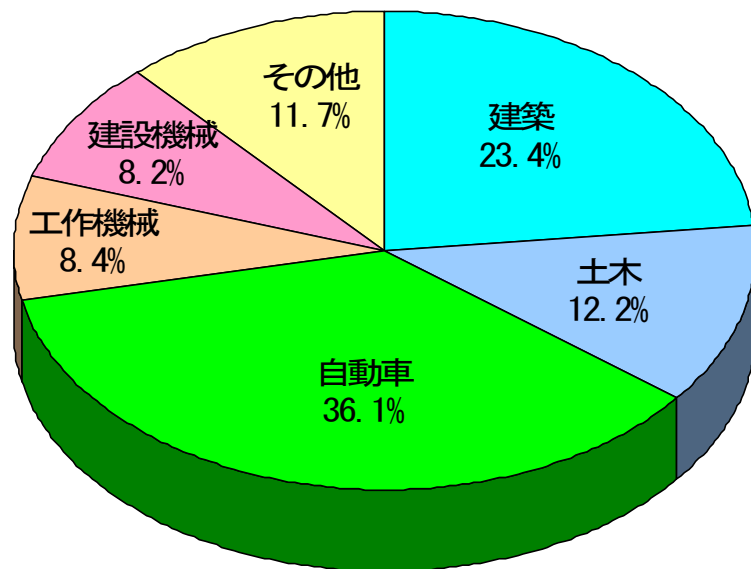
(単位:百万円)



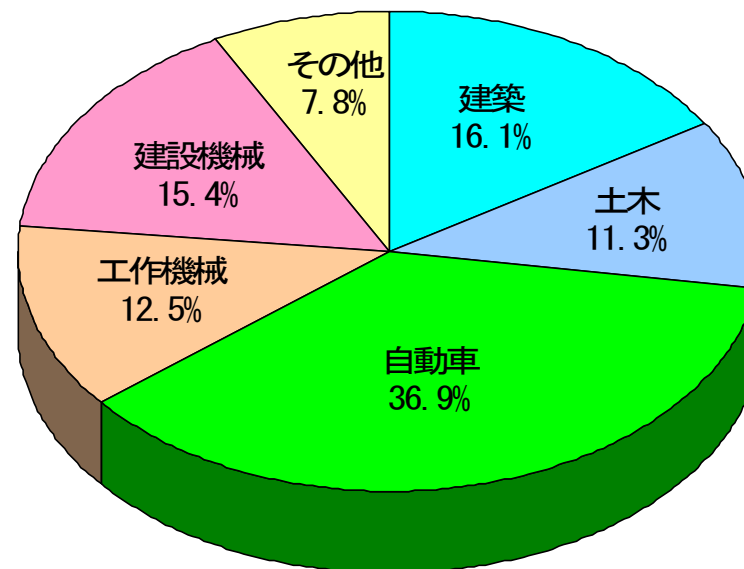
4

業界別売上高比率

2009年度実績



2010年度予想

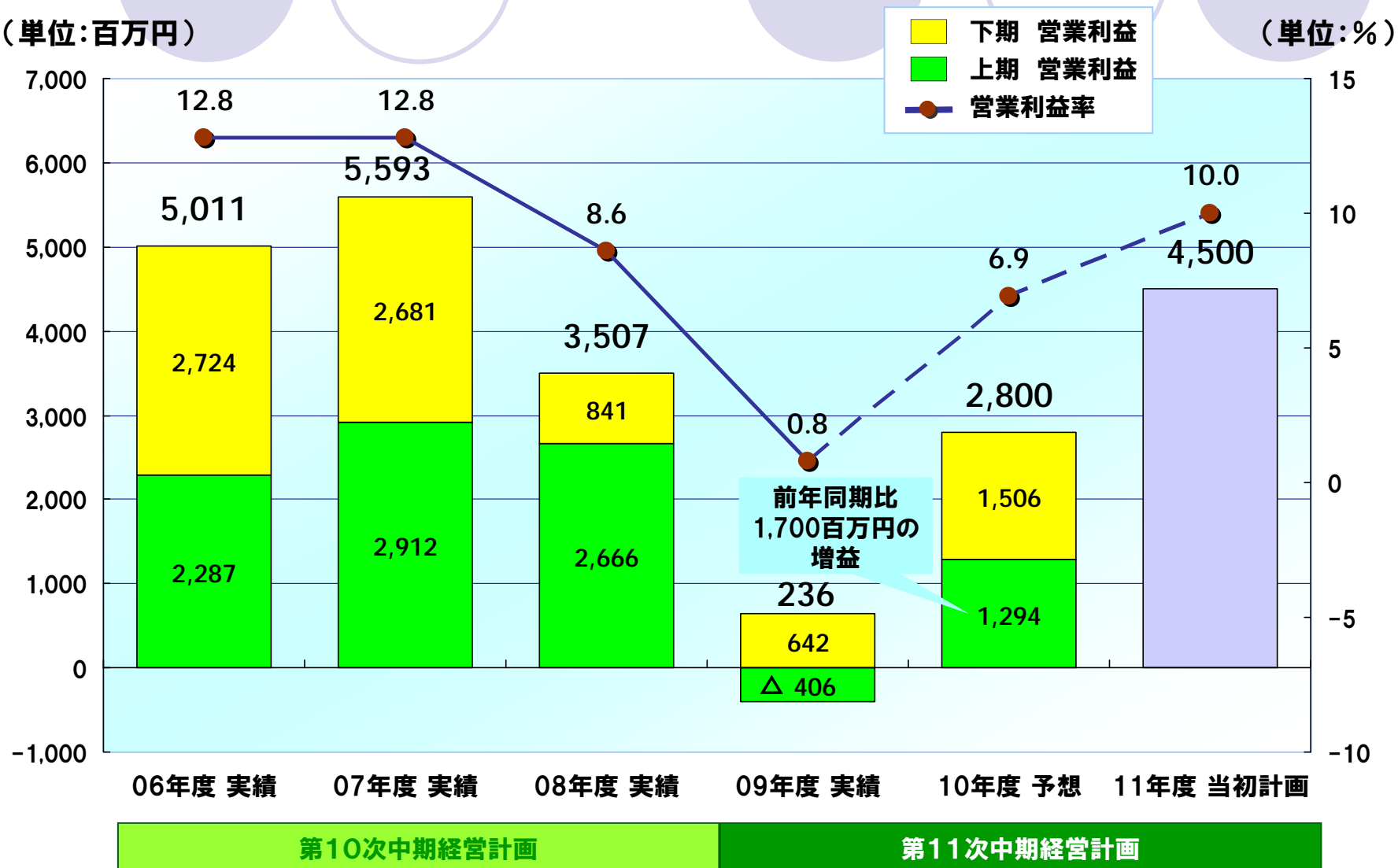


5

営業利益・営業利益率

(単位:百万円)

(単位:%)

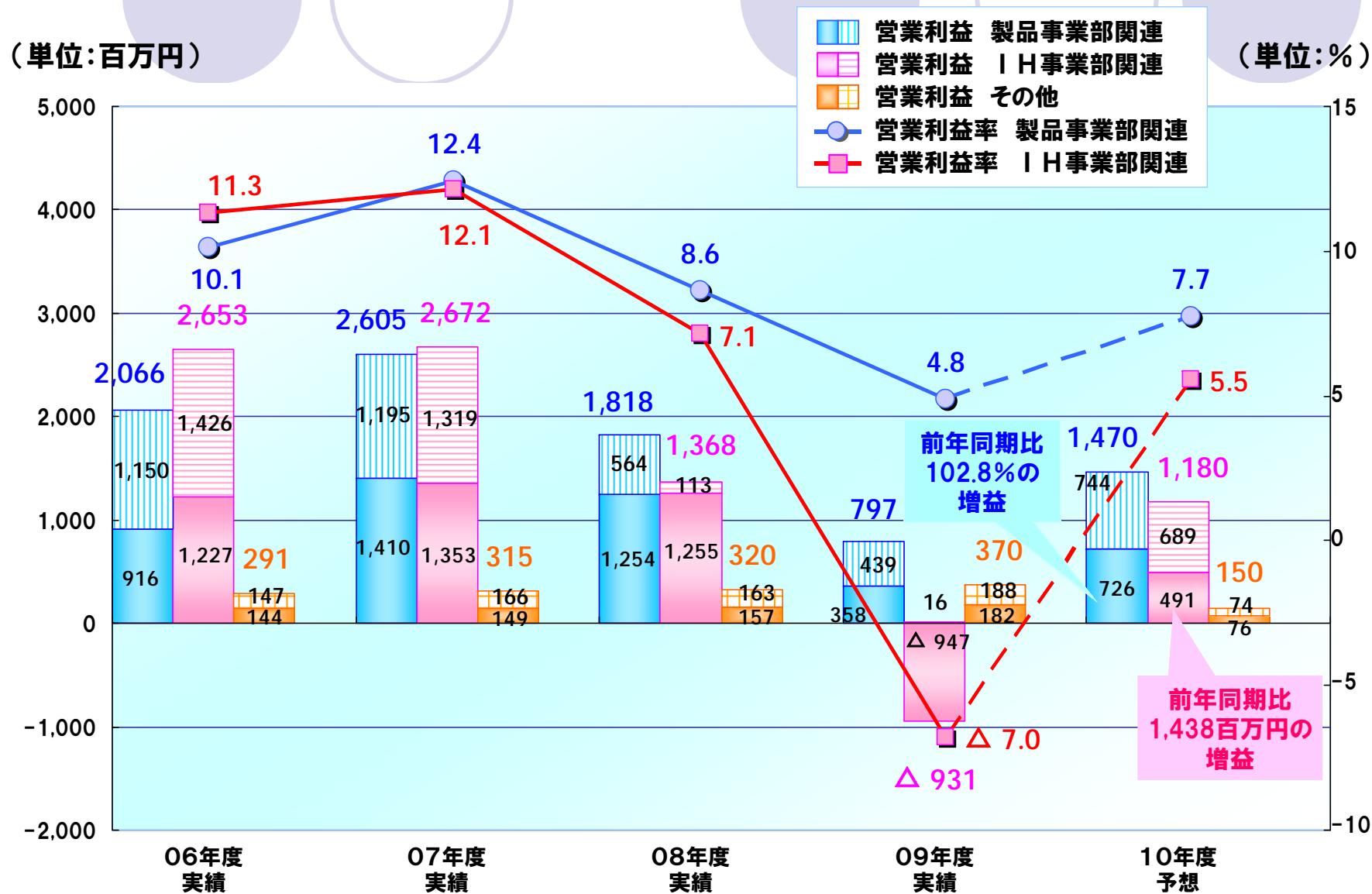


6

セグメント情報(営業利益・営業利益率)

(単位:百万円)

(単位:%)





Ⅱ 第11次中期経営計画の実績と進捗状況

【中期経営方針】

1. 成長戦略の遂行
2. 事業基盤の強化
3. 高効率化の追求
4. 人財の確保と育成

【趣旨】

2012年3月期に連結の営業利益率10%以上を目標とし、その結果、ネツレングループの企業価値の向上を目指す。

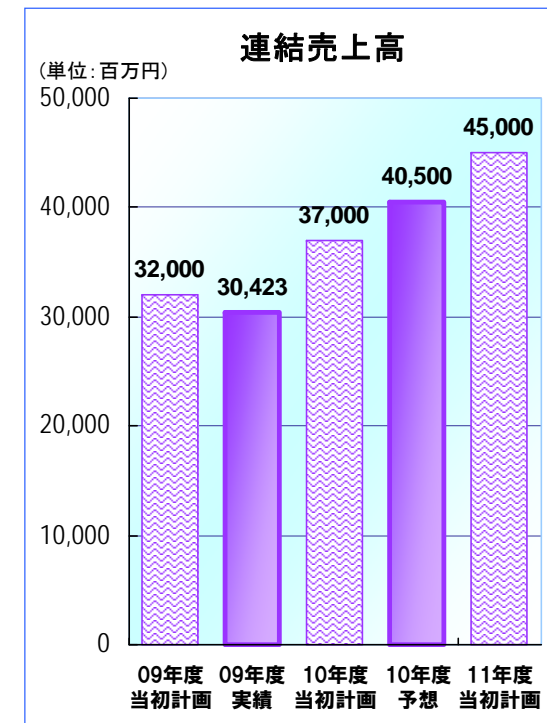
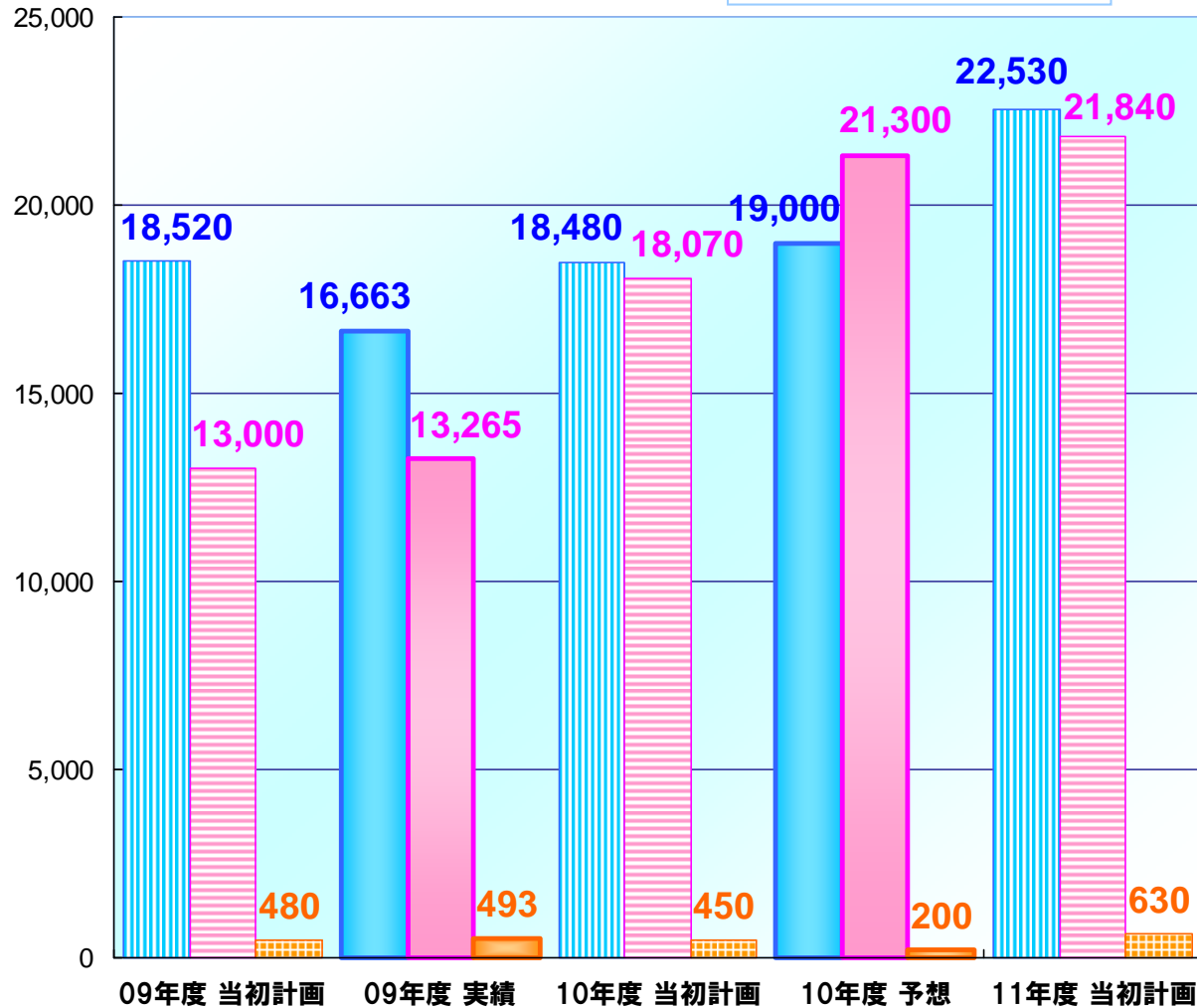
【連結経営目標】

	2012年3月期 目標
売上高	450億円以上
営業利益	45億円以上
営業利益率	10%以上
ROA(総資産経常利益率)	7%以上
ROE(株主資本純利益率)	6%以上

8

第11次中期経営計画の計画と実績(連結売上高)

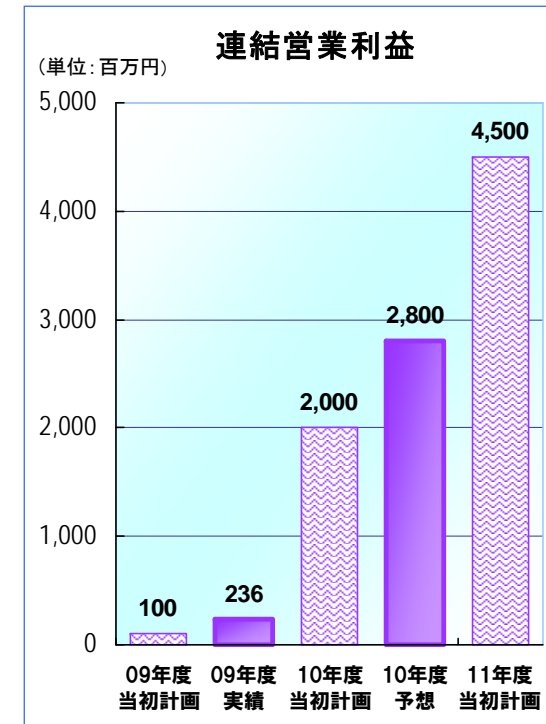
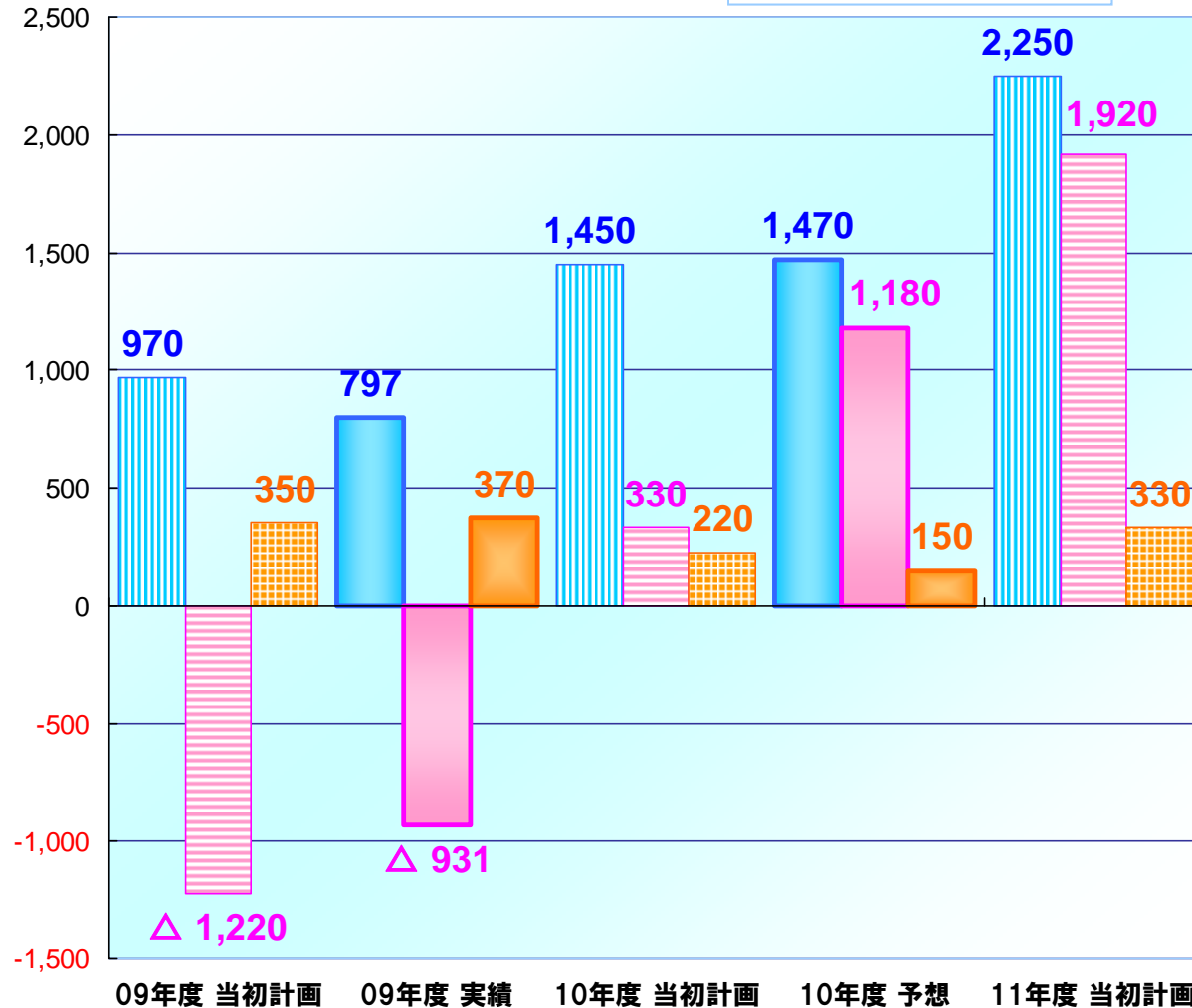
(単位:百万円)



9

第11次中期経営計画の計画と実績(連結営業利益)

(単位:百万円)



1. 新評価による高強度せん断補強筋1275(ウルボン)の建築分野および土木分野への拡販

- (1) 高強度とされる他の補強筋に比べ使用量を30%強削減(建築分野)
- (2) 通常強度の鉄筋に比べ使用量を60%強削減(土木分野)



高強度せん断補強筋1275

2. 次世代型焼入機の開発・拡販

(1) コンパクトCVJ焼入機の開発・拡販

- ① 従来の焼入機と比較し容積を50%削減
- ② 生産性を60%向上



コンパクトCVJ焼入機

(2) コンパクト高周波焼入機の開発・拡販

- ① 従来の焼入機と比較し設置面積を80%削減
- ② 社内・社外での大幅な工事費・工事日程の削減
(焼入機、電源装置、制御盤、水槽等全てワンパッケージ)



コンパクト高周波焼入機

11

新技術の開発

1. 2周波熱処理応用技術の開発

2周波電源装置1台でフレキシブルな焼入れが可能

(1) 部品形状に応じた最適周波数が必要



(2) 周波数の異なる複数電源装置が必要



(3) 2周波電源装置1台 + 複数焼入機で対応可能



2周波熱処理

2. 大型リング部品のソフトゾーンレス焼入技術の開発

【課題】

浸炭熱処理 …… 熱処理時間がかかり過ぎる

高周波熱処理 …… 従来の移動焼きでは、焼き始めと焼き終わりの部位にソフトゾーンがある

【開発】

ソフトゾーンレス一発焼入機の開発により均一焼入れと大幅生産性向上を実現

浸炭熱処理(約90hr/台) → 高周波熱処理(約0.25hr/台)



大型旋回輪

12 新規事業の推進(1)

フロントフォークインナーチューブの事業化

1. 熱処理受託加工から
機械加工・熱処理一貫加工への転換

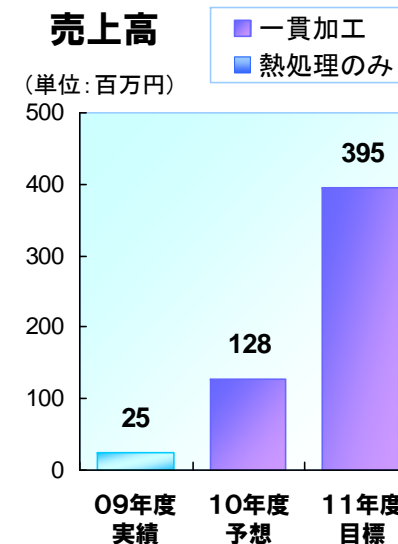


2. 可児工場(岐阜県可児市)における
パイプ加工・熱処理事業の推進

- (1) 中空ラックバー(既存事業)
- (2) フロントフォークインナーチューブ(新規事業)

3. フロントフォークインナーチューブの量産体制の確立
(機械加工・熱処理・メッキの一貫加工)

- (1) 可児工場での生産立ち上げ(2010年12月)
- (2) フロントフォークインナーチューブ以外の部品の受注
(フロントフォークアウターチューブ他)



13 新規事業の推進(2)

電動パワーステアリング用中空ラックバーの事業化



中空ラックバー

1. 油圧パワステと電動パワステの違い

- (1) 油圧パワステ(HPS) ... エンジン出力を利用した油圧アシスト
- (2) 電動パワステ(EPS) ... モーターによる電動アシスト

2. 市場の動向

- (1) HPSは、常に油圧ポンプを運転
 - (2) EPSは、必要な時にモーターを運転
- EPSにより3~5%燃費改善
(30~50kgの軽量化に相当)

3. 電動パワステの動向

- (1) 国内 : 大型SUV、商用車以外はほぼEPSへ
- (2) 海外 : [現状] EPS 50% → [2016年] EPS 70%

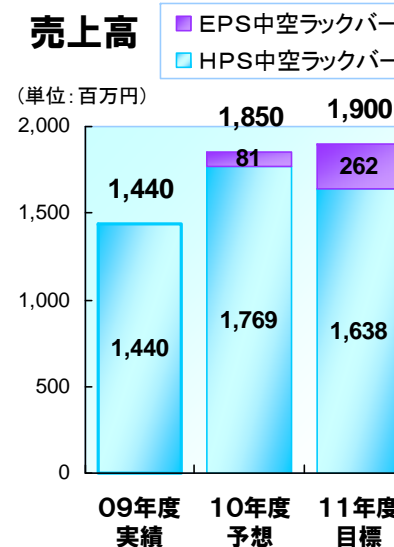
4. 今後の取り組み

- (1) コストダウンと軽量化の実現

EPS + 中空ラックバー

ネットブランド
電動パワステ中空ラックバー

- (2) 国内市場 ... 試作評価中
- 海外市場 ... 韓国メーカーより受注し2010年11月より出荷、欧州市場で展開中



14 新規事業の推進(3)

軸肥大加工の事業化



1. 開発(先端加工技術センター：神奈川県平塚市)

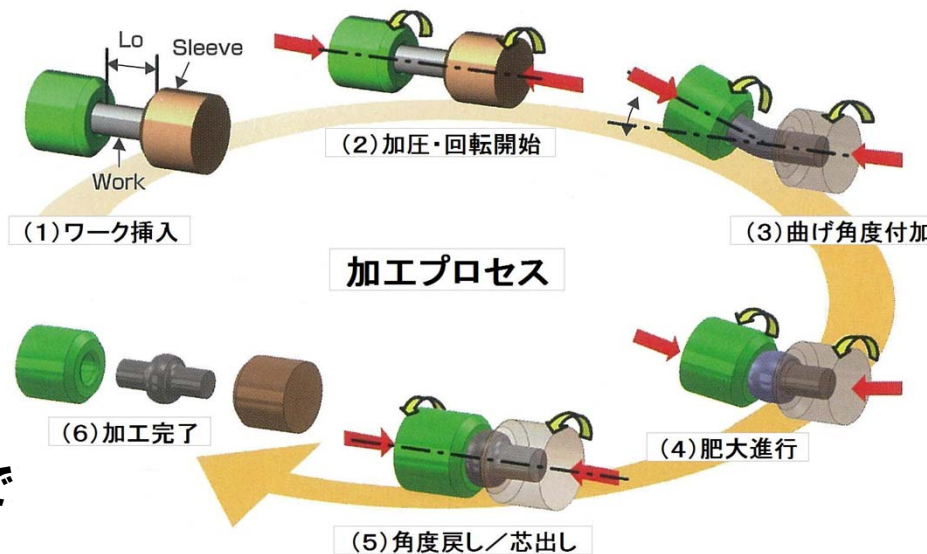
- (1) 大型部品・長尺部品・各種材料の試作
- (2) 加工の高速化

2. 生産(可児工場：岐阜県可児市)

- (1) 量産体制の構築
(2010年12月より生産開始)

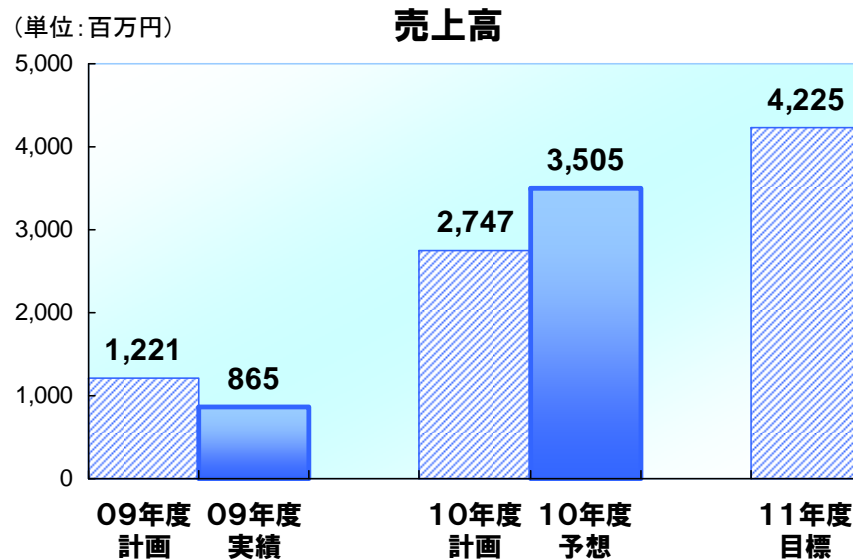
3. 販売

- (1) 軸肥大から機械加工・熱処理までの一貫加工を優先受注



旋回輪の一貫加工 (歯切・熱処理・穴あけ・旋削・組立・塗装)

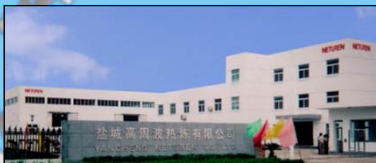
1. 建設機械用小型旋回輪の増産体制確立
2. 設備稼働率向上と適正人員への取り組みによる製造原価の低減
3. 中型旋回輪の受注と推進



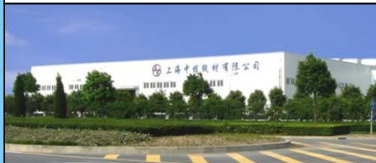
神戸工場

“経営資源の積極投入により生産能力の増強を図る”

[中国 連結子会社]



● 塩城高周波熱煉有限公司



● 上海中煉線材有限公司



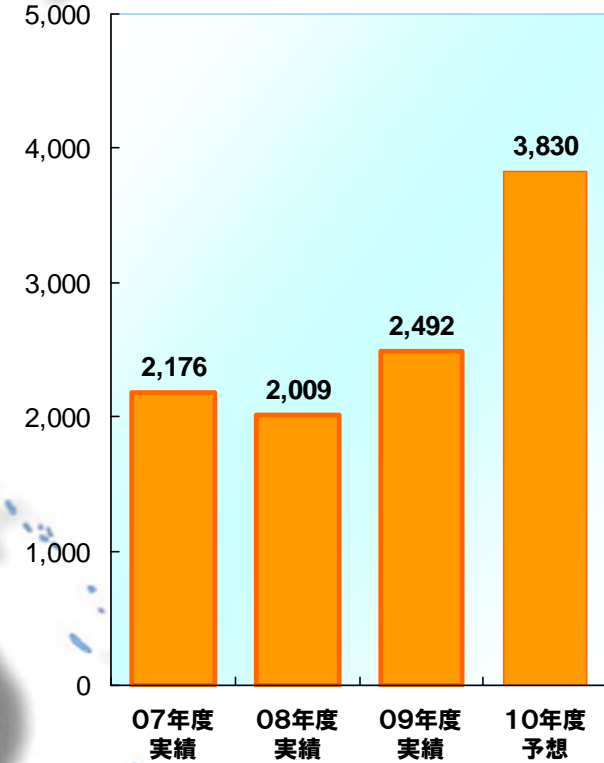
● 広州豊東熱煉有限公司

[中国 グループ会社]

● 小松(中国)履帯有限公司

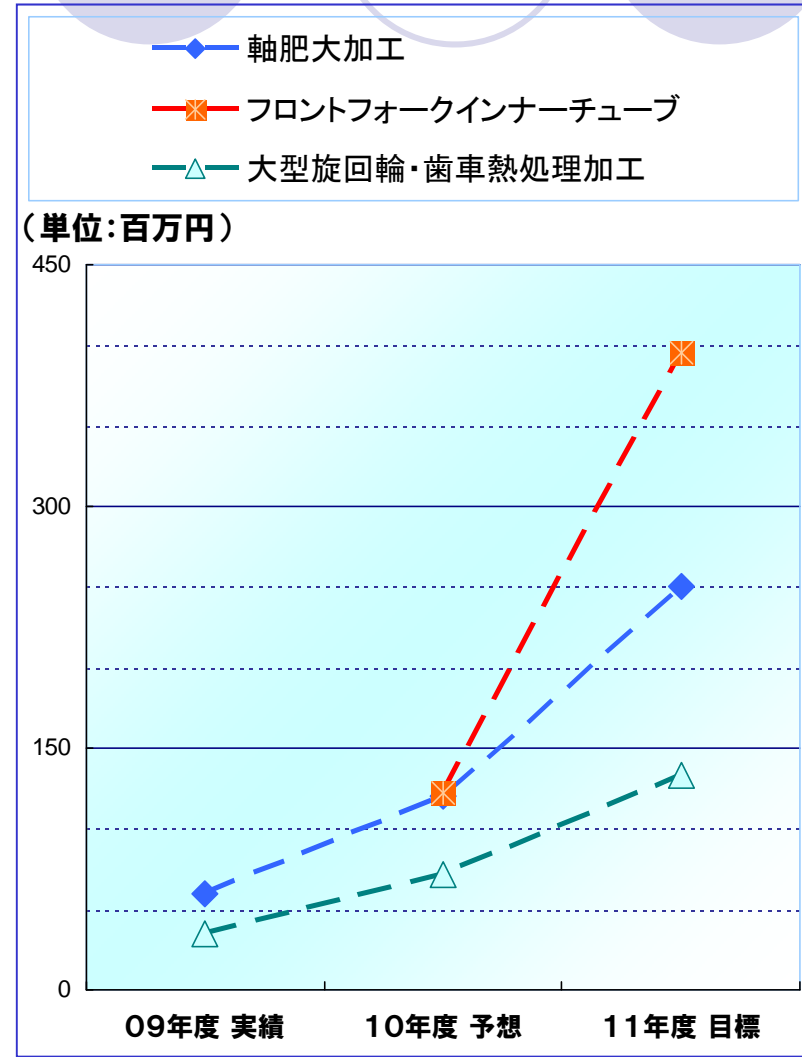
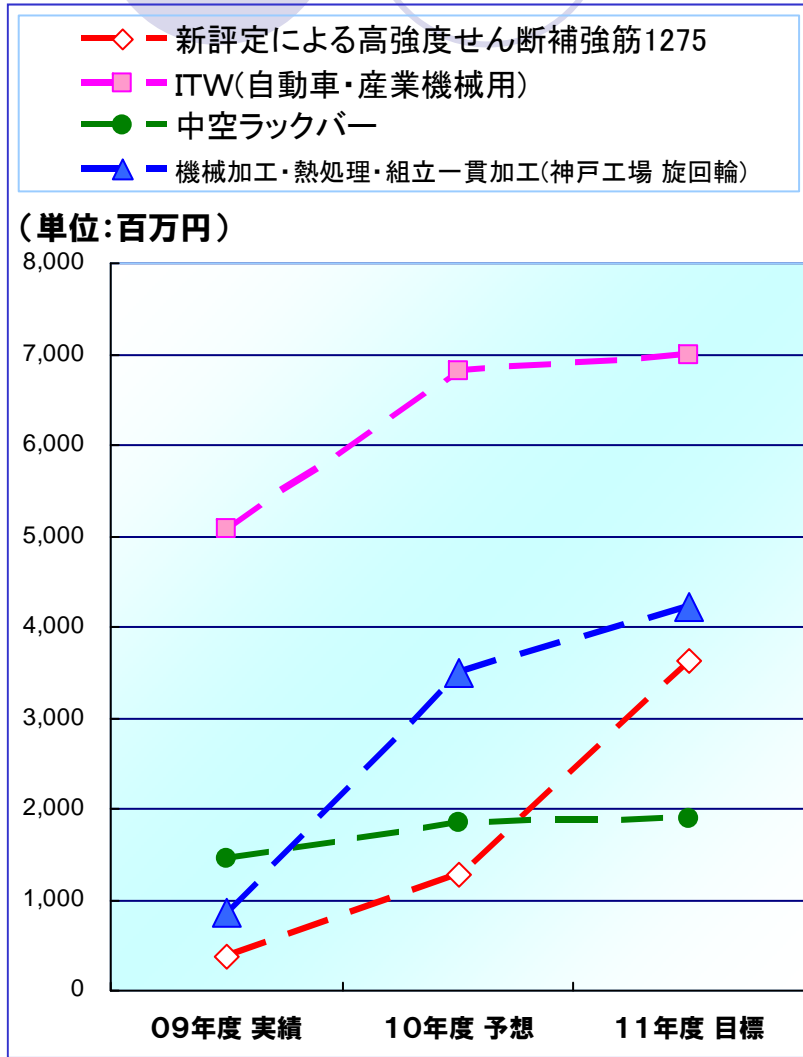
中国連結子会社 売上高

(単位:百万円)



17

新商品・主要商品・新規事業売上高

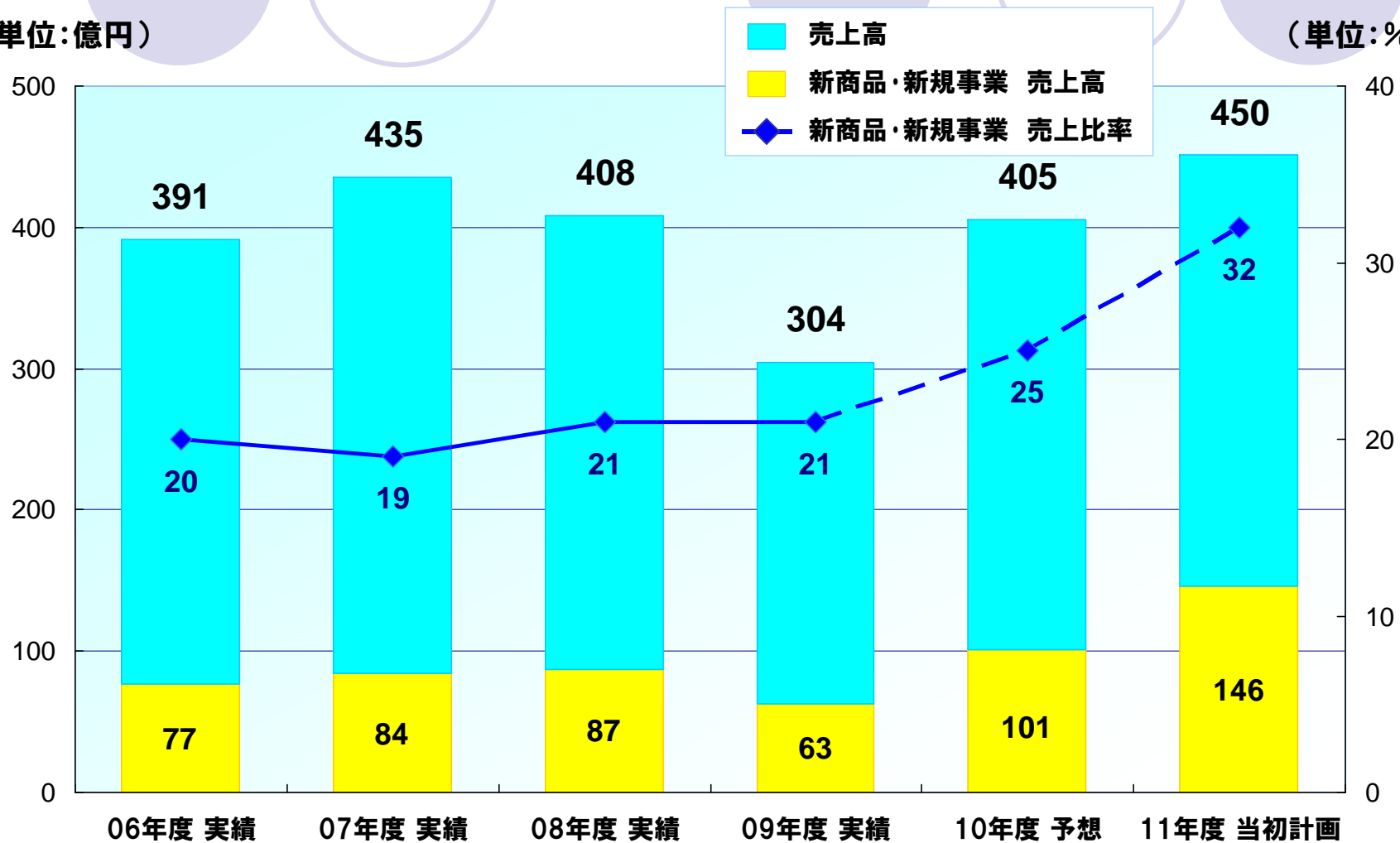


18

新商品・新規事業売上高

(単位:億円)

(単位:%)



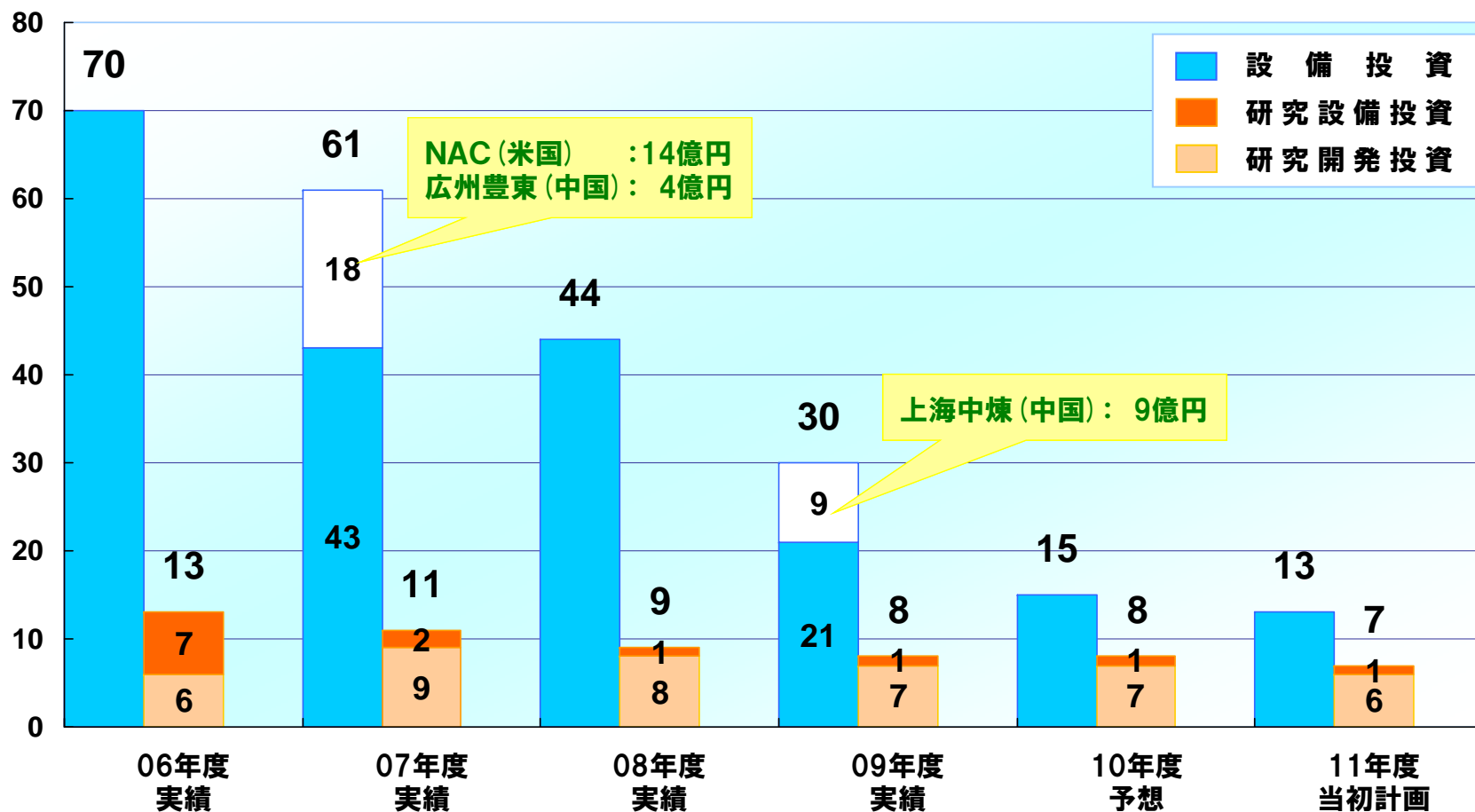
第10次中期経営計画

第11次中期経営計画

19

設備投資・研究開発投資

(単位:億円)



第10次中期経営計画

第11次中期経営計画

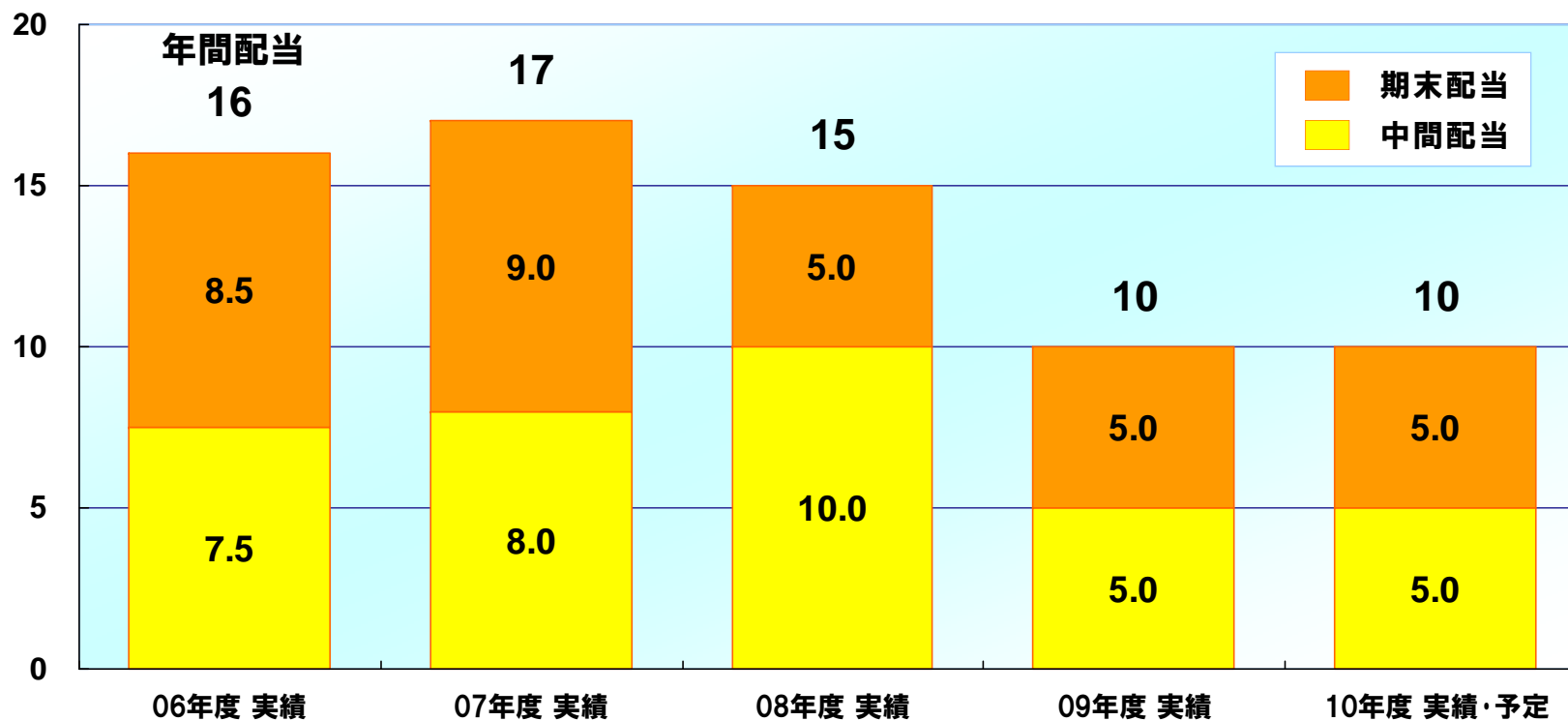
20

配当政策

基本方針

当社グループを取り巻く経営環境および業績等を踏まえ、安定した配当にも意を用い、総合的に勘案のうえ、決定していく。

(単位:円)





Ⅲ 2011年(平成23年)3月期第2四半期 連結決算の概要

1. 2011年3月期第2四半期連結業績は、前年度同期比で、売上高は29.1%の増収、また、増収効果に加え緊急経営改善策の効果具現化等により、営業利益、経常利益および当期純利益ともに前年度同期に比べて、黒字転換した。
2. 先行きの不透明感が払拭できない中、フリーキャッシュ・フローが黒字であるほか、実質的に無借金経営を継続し、また、自己資本比率が74%以上であるなど、健全な財務体質を維持している。
3. セグメント別では、
 - 製品事業部関連事業は、内需低迷を背景に需要が低迷し、高強度せん断補強筋の販売量が減少するなど厳しい状況が続いているものの、一方で、主に自動車用の高強度ばね鋼線(ITW)は個別・連結子会社ともに販売量が増加し、この結果、当セグメント全体では、前年度同期比で、増収・増益となった。

- I H事業部関連事業は、前年度第1四半期以降、主に自動車業界、建設機械業界、また、工作機械業界からの受注が回復基調にあり、この結果、前年度同期比、で売上高は大幅な増収、また、損益面は、営業黒字に転換した。
 - 「その他」は、当社がオーバルコート大崎マークウエストに保有する賃貸フロアの一部を売却したことに伴い、前年度同期比で、減収・減益となった。
4. 2011年3月期第2四半期(単独期間)業績については、前年度同期比、および前第1四半期比ともに売上高は増収、また、営業利益は増益となった。円高、欧米景気の後退懸念など先行きの不安材料は多いものの、足元の業績動向は回復基調にある。

(単位:百万円・%)

	2009年 9月期	2010年 9月期	増 減	増減率	2010年 3月期
売 上 高	13,968	18,037	4,069	29.1	30,423
営 業 利 益	△ 406	1,294	1,700	-	236
経 常 利 益	△ 280	1,466	1,746	-	644
四半期(当期)純利益	△ 266	908	1,174	-	324

(単位:百万円・%)

	2010年 3月期 第2四半期	2011年 3月期 第1四半期	2011年 3月期 第2四半期	前年度同期比		前四半期比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
製品事業部関連事業	4,346	4,386	4,437	91	2.1	51	1.2
I H 事業部関連事業	2,830	4,183	4,918	2,088	73.7	735	17.6
その他	124	70	40	△ 84	△ 67.4	△ 30	△ 42.9
売上高	7,302	8,641	9,396	2,094	28.7	755	8.7
製品事業部関連事業	352	304	422	70	19.8	118	38.8
I H 事業部関連事業	△ 384	146	344	728	-	198	135.6
その他	92	42	34	△ 58	△ 63.0	△ 8	△ 19.0
営業利益	61	493	801	740	1,210.8	308	62.5
経常利益	114	659	806	692	602.5	147	22.3
四半期純利益	△ 88	386	521	609	-	135	35.0

(単位:百万円・%)

事業区分	主な製品	2009年 9月期	2010年 9月期	増 減	増減率	2010年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	8,497	8,824	327	3.8	16,663
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	5,226	9,102	3,876	74.1	13,265
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	243	111	△132	△54.5	493
合 計		13,968	18,037	4,069	29.1	30,423

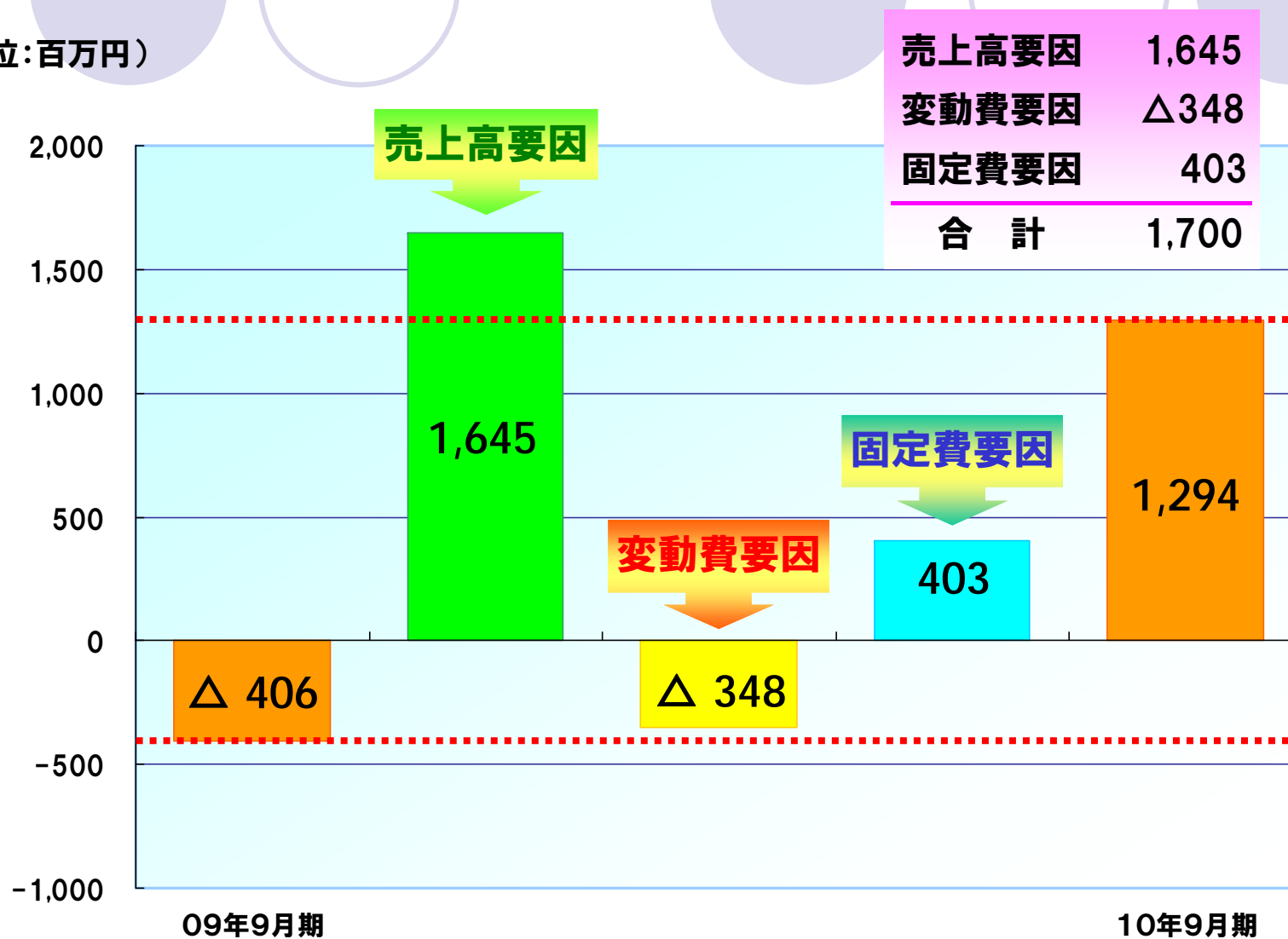
(単位:百万円・%)

事業区分	主な製品	2009年 9月期	2010年 9月期	増 減	増減率	2010年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	358	726	368	102.5	797
I H 事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	△947	491	1,438	-	△931
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	182	76	△106	△57.9	370
合 計		△406	1,294	1,700	-	236

27

連結營業利益増減内容

(単位:百万円)

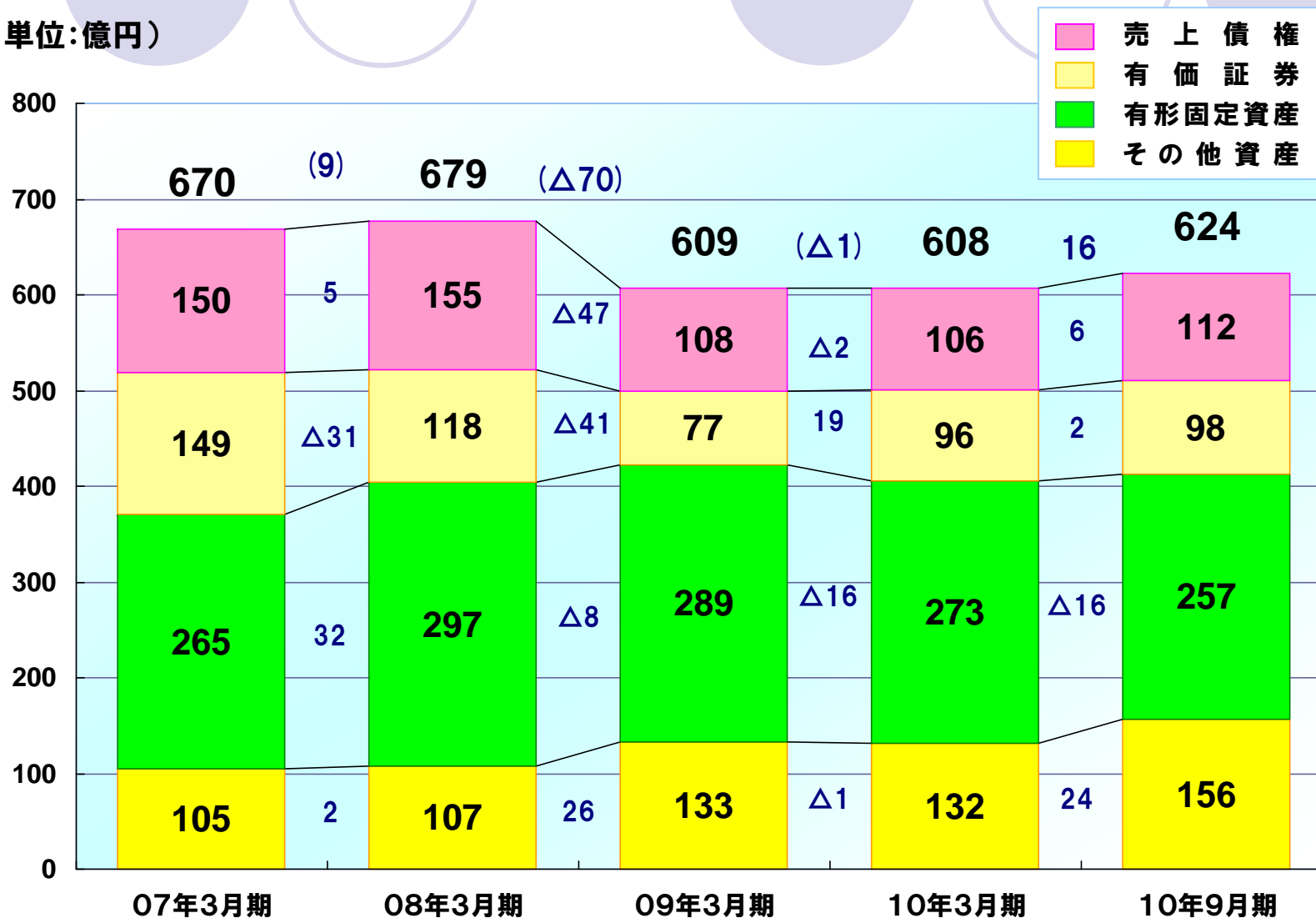


(単位:百万円・%)

科目	期別	2009年 9月期	2010年 9月期	増減	増減率	2010年 3月期
売上高		13,968	18,037	4,069	29.1	30,423
売上原価		11,877	14,171	2,294	19.3	25,230
売上総利益		2,091	3,865	1,774	84.9	5,192
販売費及び一般管理費		2,497	2,571	74	2.9	4,955
営業利益		△ 406	1,294	1,700	-	236
営業外収益		246	335	89	36.2	554
営業外費用		120	163	43	36.2	147
経常利益		△ 280	1,466	1,746	-	644
特別利益		286	429	143	50.1	1,055
特別損失		432	314	△ 118	△ 27.3	645
税金等調整前四半期純利益		△ 426	1,581	2,007	-	1,053
法人税、住民税及び事業税		4	597	593	12,661.0	552
法人税等調整額		-	-	-	-	310
少数株主損益		△ 164	75	239	-	△ 134
四半期(当期)純利益		△ 266	908	1,174	-	324

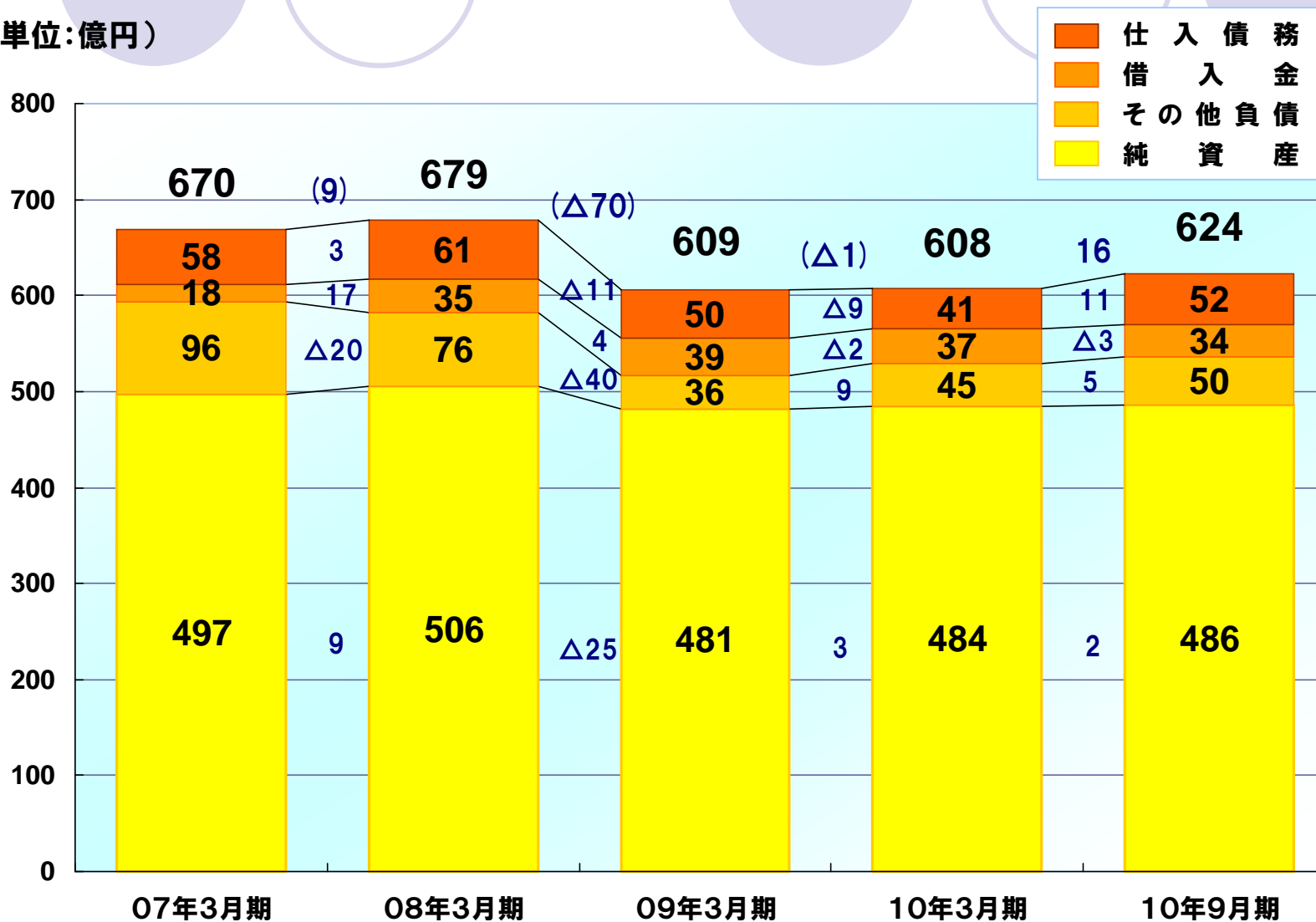
2011年3月期第2四半期 資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



2011年3月期第2四半期 負債・純資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



(単位:百万円)

科 目	2009年 9月期	2010年 9月期	対前年同期比 増 減	2010年 3月期
税金等調整前四半期(当期)純利益	△ 426	1,581	2,007	1,053
減価償却費	1,448	1,376	△ 72	3,044
売上債権の増減	1,820	△ 589	△ 2,409	189
仕入債務の増減	△ 602	1,138	1,740	△ 961
その他	1,309	△ 326	△ 1,635	1,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,550	3,180	△370	4,601
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,818	△ 826	1,992	△ 3,076
フリーキャッシュ・フロー	732	2,354	1,622	1,525
借入金	△ 51	△ 211	△ 160	△ 248
自己株式の取得	△ 0	△ 0	0	△ 352
配当金の支払額	△ 217	△ 215	2	△ 435
その他	△6	△ 33	△ 27	△ 64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 275	△ 459	△ 184	△ 1,101
キャッシュ・フロー四半期(期末)残高	7,403	9,168	1,765	7,346

1. 2011年3月期においては、不透明要因があるものの、基本的には緩やかな景気回復基調を背景に、前年度比で、売上高は33%の増収、また、営業利益は増収効果に加えて、コスト削減努力を継続する結果、前年度比で、11倍以上の大幅な増益を見込む。
2. セグメント別では、
 - 製品事業部関連事業は、コスト削減を継続するなか、主力製品であるコンクリートパイル・ポール用ウルボン販売量の回復を見込むうえ、上海中煉線材有限公司等連結子会社における業績改善に加え、個別においても高強度ばね鋼線(ITW)の販売量増加を見込み、これらの結果、前年度比で、増収、増益を見込む。
 - IH事業部関連事業は、自動車、建設機械、工作機械業界からの受注が概ね順調に推移することを想定し、前年度比で、大幅な増収、また、営業損失から大幅な黒字転換を見込む。
 - 「その他」は、当社がオーバルコート大崎マークウエストに保有する賃貸フロアの一部を売却したことに伴い、減収・減益を見込む。

(単位:百万円・%)

事業区分	2010年 3月期	2011年 3月期 (予想)	増 減	増減率	2010年 9月期
製品事業部 関連事業	16,663	19,000	2,337	14.0	8,824
I H事業部 関連事業	13,265	21,300	8,035	60.6	9,102
そ の 他	493	200	△ 293	△ 59.4	111
合 計	30,423	40,500	10,077	33.1	18,037

(単位:百万円・%)

事業区分	2010年 3月期	2011年 3月期 (予想)	増減	増減率	2010年 9月期
製品事業部 関連事業	797	1,470	673	84.4	726
IH事業部 関連事業	△931	1,180	2,111	-	491
その他	370	150	△220	△59.5	76
合計	236	2,800	2,564	1,086.4	1,294

35

連結設備投資額

(単位:百万円)

	2009年 3月期	2009年 9月期	2010年 3月期	2010年 9月期	2011年 3月期 (予 想)
設備投資額	4,382	2,284	3,013	840	1,550
減価償却費	3,151	1,448	3,044	1,376	2,870

企業価値向上のため、以下の財務・資本政策を実行する。

1. 資産・資本効率の向上 (ROA・ROEの改善)

(1) 資産圧縮策の実行

- 保有意義を吟味のうえ、有価証券の売却
- 棚卸資産等の圧縮

(2) 資本政策の実行

- 適切な配当政策の実行
- 機動的な自己株式取得
- その他の施策

2. 資産の有効活用

- 選別的設備投資およびR&D投資
- 内外投資の早期回収
- 手元資金の有効活用および収益力改善

3. 時価総額の増加

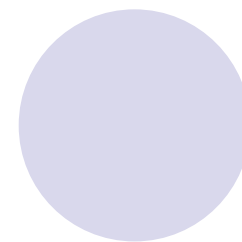
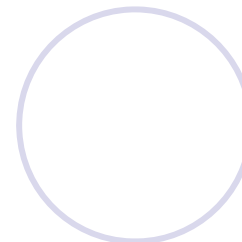
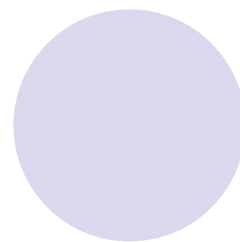
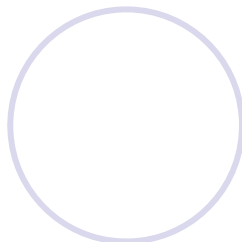
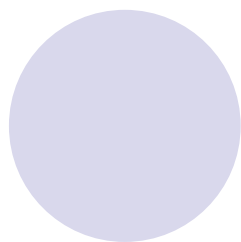
- 経営効率化の遂行
- IR活動の継続・強化
- 内部統制、コンプライアンス、CSRの強化
- 地球温暖化ガス削減に向けた取り組み強化

4. 企業価値の防衛

- 企業価値向上および株主重視経営実践
- コア株主との戦略的連携強化
- 買収防衛策の更新

5. 第11次中期経営計画の実行

- 経営環境が激変するなか、経営改革を断行し、企業価値を回復、改善する。



ネツレン

高周波熱錬株式会社

(注)当資料に記載の将来に関する予想数値は、公表時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。